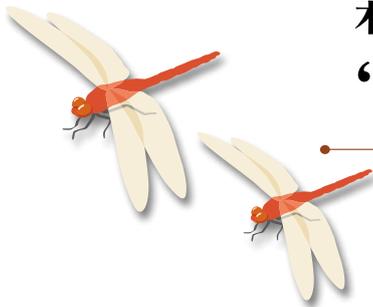


りとにゅーす

No.68 2013.9.1

図書館の情報を
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>

新しい図書館像 “ラーニング・コモンズ”



副学長 金枝 敏明



今回でこの巻頭言を執筆するのは2回目であり、前回は数年前と記憶しています。その際、記述した提案は、米国の大学生のように深夜まで図書館を利用し、レポート作成や予習&復習をする、というものでした。

本学図書館の特徴を少し挙げますと、学生が購入希望した図書の購入（H24年度で484件の希望に対し、410冊を購入 約85%）が高い率であることです。100%でないのは、既に所蔵していたり、絶版だったり、学生向きの内容でないためであります。また、図書の貸出しを促進するために、貸出数上位の学生をベストリーダーとして毎年表彰しております。

さて、大学の図書館像も時により移り変わり、近年それが顕著になっております。その代表的なものがラーニング・コモンズであります。これは、「図書館機能、情報技術、その他アカデミックサポートを統合したもの（米国での定義）」であり、その性格は図書館と情報処理センターと合体させ、そこでは学生が各種情報を自由に取得し、それを操り、協

同で学習したり、プレゼンテーションの準備や、ミーティングをしたり、学習相談室が設置されていて指導を受ける場所と考えてよいでしょう。このように申しますと今まで図書館では、静粛にと再三告げられてきたことと矛盾していると思われるかもしれませんが、静粛なスペースが確保され、且つ、活発な議論ができたり、アドバイスを受けることの出来る場所があるという事であります。

本学も来年開学50周年を迎え、老朽化している建物を壊し、2016年3月に新1号館を竣工します。この中には時流に合致した、ラーニング・コモンズを設置し、只今その内容を検討しております。本学ではこのように少しでも学生の修学環境の向上を図り、文科省が推進している「どのようにして学生に勉強させるか」といった答申に合致させるように試みております。しかし、新しい「革袋」が出来てもそこに入るものが「古いお酒」では意味が有りません。完成の際には、利用者自身に有効な利用方法を早期に体得してもらいたいと思います。



理科大学図書館を有効に利用する為には!

『さあ困った、教員からレポートの課題が』

先生からレポートの課題が与えられた。高校時代にもその様な課題が与えられた事はあるが、大学生となって初めての試練。高校と一味違ったレポートを書くにはどうしたらよいか?

1 まずは、課題に関する資料を検索してみましょう

おいしい料理を作る為には、おいしい食材が必要。同じく良いレポートを書く為には、良い資料を集めることが大切です。理大資料検索 (OPAC) を使えば、キーワードから、自由に岡山理科大学にある資料の有無、及び所在が掴めます。『請求記号』を基に配架場所に行き、本の背表紙をさっと見回し、目的の本を選んでみてください。きっと良い発想・構想が得られることと思います。さらにより高度な知識を必要とする人は、オンラインジャーナルを利用し、国内外で発行された学術雑誌記載の論文にチャレンジするのも良いでしょう。また、過去の新聞記事をホームページから検索することもできます。



参考

データベースについて

- (1) **GeNii**: 国内の学術雑誌掲載論文を中心に検索できるデータベース CiNii と、国内刊行の図書が検索できる Webcast-Plus が一緒に利用できます。
- (2) **MathSciNet (数学分野)**: Mathematical Reviews および Current Mathematical Publications の情報が集録されています。
- (3) **Web of Science**: トムソン・ロイターが作成している Science Citation Index や Social Science Citation Index などの3つの引用検索データベースが利用可能です。

新聞記事について

- (1) 過去2年間の新聞については、各号館に保存してあります。(『朝日新聞』と『山陽新聞』は11号館1階にあります。)
- (2) 朝日新聞の記事は、11号館にあるホームページ端末『聞蔵』で調べられます。また、以前のものについては21号館に『朝日新聞の縮刷版』が2001年12月分まであります。



2 資料を集めたら、じっくり時間をかけて構想を練りましょう —特別閲覧室の利用がお勧めです—

レポート作成は個人の孤独な知的作業ですが、より有効かつ効率的に構想を練る為に、他の人とグループで討論をしてみましょう。自分の考えをホワイトボード等へ書き込み、友人に説明してみてください。自分が気づかなかった問題点を友人が指摘してくれたり、思いも寄らない着想のアドバイスがもらえたりします。図書館内は私語禁止です。しかし特別閲覧室は例外です。思いっきりディスカッションしてより良いレポートに仕上げてください。



特別閲覧室は、11号館と10号館に設置しておりますので、利用する時は、それぞれのカウンターに申し出てください。

3 頭をリフレッシュしましょう—視聴覚コーナーの利用—

資料も見つかり、構想もある程度練れた。後は纏めるだけ。ここで、少し頭をリフレッシュしましょう。疲れた頭を冷やす為、視聴覚資料も利用しましょう。11号館2階、21号館3階の視聴覚コーナーには、DVD・CD・ビデオの資料があります。今取り組んでいるレポートに関係するDVDやビデオ、心休まるCDを聞いて、頭をスッキリさせて、冴えた頭でもう一度、資料を見直してください。



4 レポートを纏めましょう—貸出ノートパソコンの利用—

11号館では5台のノートパソコンを貸出しています。館内だけでの利用になりますが、MS-OFFICE Pro 2010, 無線LANが利用できます。皆さんはこんな経験がありませんか? 夜中に順調にレポートを作成していたが、ある機能の使い方が解らない為に無駄な時間を費やし、やる気を損ねてしまったということが。でもご安心。パソコンを使いながら機能・操作が解らなくても、図書館ではすぐ側に、疑問に応じてくれるマニュアル本があり、困っても直ぐに解決できます。データの集計からグラフや図形の作成等、あらゆる機能を使って仕上げたレポートで、先生に強くアピールしてください。きっと良い評価を受けることと思います。



最後に図書館員から一言 製本機の利用

図書館の設備を利用してのレポート作成はいかがでしたか? 納得できる物ができましたでしょうか?

ここで皆さんに職員から一言アドバイス。折角作ったレポートです。大学生活4年間の思い出として、自分だけのオリジナルな資料に仕上げてみませんか。実は、11号館2階特別閲覧室には裁断機と製本機があるのをご存知ですか。きれいな表紙を付けて1冊60円で製本できます。(表紙を付けない時は20円です。)是非ご利用ください。希望者は11号館2階カウンターにお申し出ください。



“シリーズ『岡山学』1~10”

岡山理科大学『岡山学』研究会代表 生物地球学部教授 亀田 修一

シリーズ『岡山学』は、岡山理科大学『岡山学』研究会が地元の吉備人出版から刊行している冊子です。これまで、備前焼、吉井川、旭川、鬼ノ城と吉備津神社、高梁川、岡山の災害などをテーマに10冊刊行してきました。

岡山理科大学『岡山学』研究会は、1999年総合情報学部(2012年度生物地球学部新設)の教員が中心となって、「岡山」の恵まれた自然・文化・産業など地域に密着したテーマを選び、自然科学・人文科学・社会科学・情報科学などいろいろな方向から検討することで、自分たちが生活しているこの地域を明らかにするとともに、地元の方々に

知っていただきたいと始めた研究会です。現在は1年に1回(だいたい12月頃)公開シンポジウムを開催し、その成果をシリーズ『岡山学』として刊行しています。今年度のテーマは「瀬戸内海沿岸地域」です。

2013年2月にはシリーズ『岡山学』の刊行が評価され、平成24年度岡山県文化奨励賞という立派な賞を受賞しました。これからも「岡山」という地域に根ざしたテーマを選び、地域の方々と連携しながらこのシリーズ『岡山学』を刊行していきたいと思っています。





“仮想図書館と大学図書館”

理学部 応用物理学科 准教授 山本 薫

最近、図書館との関わり方が変化してきました。以前であれば、理工系大の図書館といえば研究者に文献を提供するための蔵書の充実が重要であったと思います。そして、利用者の側には、そこからの確に文献を探し出せるための技術習得が課せられていました。

私ごとで恐縮ですが、自分の場合その手ほどきを、研究室の先輩であったエジプト人留学生にさせていただきました。大柄で優しいこの方は、研究室の新メンバーである我々を、本の壁のようにもみえる文献抄録紙の前に連れて行き、親切にその使い方を教えて下さったのです。

懐かしい思い出ですが、そこで対峙した抄録紙とはもう取っ組み合いをする必要がなくなってしまいました。ネットを介した電子検索が一般的になったからです。そればかりか、文献自体も電子化されPCに直接ダウンロードできるようになり、居ながらにして検索が完了するようになりました。文献アーカイブが仮想空間に移動したのです。

このような進歩は図書館の存在意義に革命的变化をもたらしているはずですが、もちろんそれは喜ばしい変化に違いありません。仮想図書館の出現により蔵書収集の呪縛から解放されたおかげで、これからの図書館は、利用者がその場で本を手にするリアルスペースとしての機能に注力できるからです。

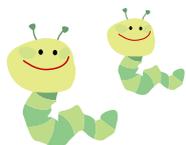
ところで、上でお話したように私のこの思い出は抄録紙を使わなくなって久しい今でも少しも薄れておりません。たった一つの体験談に過ぎませんが、きっとこれは、あの少しかび臭い空間に学習効果を高める何かがあるからに違いないでしょう。新1号館の図面をみると、新しい図書館にはゆったりとした学習スペースが準備されているようです。ここが多くの学生の皆さんに生涯の記憶に残るような知的体験を提供する魅力的空間となることを祈ります。

新任教員
による

この1冊!

国際的日本人が生まれる教室

工学部 生体医工学科 准教授 奥西 有理



和泉高校の民間校長そして大阪府教育長への就任で話題になった中原氏によって書かれた一冊です。本には、「グローバル人材」に関して、氏の個人的見解が記されています。「ここは、賛成」、「ここは、反対」など、自分の意見と突き合わせつつ、本と対話しながら読み進めることができます。氏は、自らの夢を、「グローバル人材を育成すること」であると語り、その最終目的を「日本を強い国にしたい」のだと訴えます。そして「強い国」とは、「国民一人ひとりが十分に知識、教養、思考力を身に付け、国際社会において存在感を示し、困っている国や人々に手を差し伸べることができる」ことであると定義します。その上で、「正しく競争していくこと」は良いことであると主張します。自分が実力を付けなければ、他の人や国に対して本当の意味で優しさは発揮できないというメッセージは、努力し頑張ることの意味について考えるきっかけを与えてくれます。

中原 徹 (著) 出版社：祥伝社



からのおしらせ!

よく借りられている図書 BEST5 (2013/07/23現在)

- 1位** 理科年表.平成24年 (貸出回数33回)
11号館一般 403.3/To/12
- 2位** 有機化学実験 原書第8版 (貸出回数30回)
11号館一般 437.072/Fi
- 3位** Essential 細胞生物学 (貸出回数28回)
11号館一般 463/Es
- 4位** 臨床検査技師国家試験問題集 2013年度 (貸出回数27回)
11号館一般 492.1/Ri/13
- 5位** 生化学 第5版 (貸出回数26回) 11号館一般 464/Co

文庫本の小説がトップかと思いきや、皆よく勉強していることがわかりました。

ベストリーダー賞について

岡山理科大学図書館では、勉学熱心な学生を対象としたベストリーダー賞を制定し表彰しています。

賞の概要

4年生は、2年次～今年12月まで、新入生は入学年次の4月～12月まで、各分野貸出数の上位1位～3位までの18名の方が表彰されます。副賞もあるので、お楽しみに。

■対象者/ベストリーダー大賞 4年生対象
ベストリーダー新人賞 学部新入生対象

■分野/●理工系分野 (分類400～599)
●人文・社会科学分野 (分類000～399, 600～899)
●文学分野 (分類900～999)